



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月9日

上場会社名 株式会社CEホールディングス 上場取引所 東 札  
 コード番号 4320 URL http://www.ce-hd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 惠昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 松澤 好隆 TEL 011(861)1600  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	4,086	5.0	70	△48.5	84	△45.7	30	△10.6
27年9月期第2四半期	3,893	△22.8	137	△82.6	156	△80.8	33	△92.9

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 46百万円 (24.3%) 27年9月期第2四半期 37百万円 (△92.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	8.48	8.24
27年9月期第2四半期	9.49	9.06

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	6,163	3,861	59.4
27年9月期	5,341	3,890	70.2

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 3,660百万円 27年9月期 3,749百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	10.2	180	32.9	200	△5.4	104	△13.2	29.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年9月期2Q	3,703,700株	27年9月期	3,703,700株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	168,564株	27年9月期	104,064株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年9月期2Q	3,564,074株	27年9月期2Q	3,563,636株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料につきましては、この四半期決算短信の開示後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	8
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は消費者マインドに足踏みが見られる中、おおむね横ばいとなっており、緩やかな回復基調が続いております。

ソフトウェア業界におきましては、ソフトウェア投資は緩やかに増加しており、全体としては底堅く推移しております。

当社グループが事業を展開しております医療情報システム業界におきましては、本年4月の診療報酬改定率が本体部分で0.49%の引き上げとなるものの、全体で1.03%の引き下げとなる中、「地域医療構想」の策定が進められ、病床機能の再編に向けた取り組みが医療機関に求められており、医療機関を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。一方、早期に住み慣れた地域での療養や生活を継続できるよう、各医療機関の連携を推進するための評価基準が新設されるなど、より一層すんだ地域包括ケアシステム推進のための取り組みと、そのためのICT[1]利用が推進されており、今後も医療の質向上や効率化に寄与する電子カルテシステムの普及が期待されております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である電子カルテシステム事業におきましては、診療報酬改定や受注獲得のための競争が激化する中、新規ユーザーの受注確定遅れから低調に推移し、平成28年3月末の「MI・RA・I s(ミライズ)シリーズ」のユーザー数が、前期末より20件増加し、729ユーザーとなりました。一方、既存ユーザーのアップグレードやハードウェア・部門システムの受注は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,086百万円(前年同期比5.0%増)、売上総利益739百万円(前年同期比17.0%増)となりました。営業利益につきましては、研究開発費など一般管理費の増加により70百万円(前年同期比48.5%減)、経常利益84百万円(前年同期比45.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税等調整額の減少により30百万円(前年同期比10.6%減)となりました。また、受注状況につきましては、受注高3,132百万円(前年同期比3.8%増)、受注残高2,397百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### [電子カルテシステム事業]

電子カルテシステム事業は、「MI・RA・I sユーザーフォーラム[2]」の活動等を通じてユーザーニーズの把握に努め、製品の機能強化に取り組むとともに、品質マネジメントシステムの構築を継続的に推進し、顧客満足度の向上並びに製品・サービスの品質確保を図ってまいりました。医療機関における業務の効率化や医療データのセキュリティ強化のニーズに応えるべく、電子カルテシステム「MI・RA・I sシリーズ」クラウド対応版[3]の販売も推進してまいりました。看護業務支援システム「ナース物語」シリーズ[4]につきましては、電子カルテシステムと親和性が高いシステムとして、「MI・RA・I sシリーズ」とあわせ、その拡販に取り組むとともに、開発・販売の一体化など、更なる相乗効果の向上に取り組んでまいりました。また、政府が推進する地域包括ケアシステム[5]の構築を見据え、医療と介護のシステム連携や、医療機関における地域連携室の退院・転院調整業務をWebサービスで支援する地域連携室支援サービス「れんさく君」[6]の販売を行ってまいりました。健康・医療ソリューション「HealthClover(ヘルスクローバー)[7]」につきましては、医療現場のニーズに応えるべく、さらなる機能拡張やサービス充実を図り、「電子カルテ/地域医療連携ソリューション」とともに、政府諸施策を見据えながら販売活動に取り組んでまいりました。一方、医療情報システムの受託開発につきましては、地域中核病院を中心に継続的に日本電気㈱から受注し開発・導入作業を行ってまいりました。

当社グループの大半を占める電子カルテシステム事業の業績につきましては、新規ユーザー向けが受注確定遅れから低調に推移した一方、既存ユーザー向けのアップグレードやハードウェア・部門システムの受注が堅調で、受注高3,116百万円(前年同期比4.0%増)、受注残高2,392百万円(前年同期比12.9%増)、売上高4,034百万円(前年同期比4.4%増)となりました。一方、セグメント利益につきましては、原価率の高いハードウェアや他社システムの売上が増加したことに加えて、上記のとおり一般管理費が増加したことなどから、70百万円(前年同期比64.9%減)となりました。

#### [その他]

その他におきましては、全世代に発信するヘルスケア関連情報サイト「Mocosuku(もこすく)[8]」において、ユーザーニーズを捉えた記事を配信し、記事内容にマッチした誘導リンクを配置することにより、アクセス数の増加、ひいてはサイト価値の向上を図るとともに、サービス領域拡大に取り組んでまいりました。また、高齢者向け安否/安心連絡システム「安タッチ(あんタッチ)[9]」を中心に、高齢者向け医療・健康関連システムの提供にも努めてまいりました。

その他の業績につきましては、受注高16百万円(前年同期比23.6%減)、受注残高4百万円(前年同期受注残高なし)、売上高51百万円(前年同期比86.8%増)、セグメント損失18百万円(前年同期セグメント損失39百万円)となりました。

- [1] ICT Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。
- [2] MI・RA・I s ユーザーフォーラム ㈱シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I s シリーズ」のユーザーが主体となって運営している情報交換の場であり、より使いやすく、充実したシステムへと発展することを目指し、見学会や情報交換会などの活動を定期的に行っている。
- [3] MI・RA・I s シリーズクラウド対応版 ㈱シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I s シリーズ」は、通常病院内にサーバーを設置・運用するが、データセンターに設置したサーバーを病院が利用できるよう、アプリケーションを対応したもの。サーバーは病院が購入するケースと、データセンターが提供するケースがある。
- [4] 「ナース物語」シリーズ ㈱エムシーエスが取り扱う看護業務支援システムで、全国700施設以上の導入実績を誇る。看護業務の現場に即した機能性と利便性を有し、看護の効率化を支援する。
- [5] 地域包括ケアシステム 政府が構築を推進している、地域の包括的な支援・サービス提供体制。団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制を目指している。
- [6] れんさく君 医療機関において地域との連携を担う部署である地域連携室が、患者の退院・転院調整や相談援助などを行いやすくするためのシステム。従来地域連携施設のデータを電話など手作業で収集しているが、インターネット環境にて検索・閲覧することが可能となり、情報収集の効率化に寄与する。(㈱駅探と共同開発した。
- [7] Health Clover (ヘルスクローバー) 医療機関から患者やその家族の携帯電話・スマートフォンに、各種案内や健康コンテンツ等の提供を行うサービス。患者は診療予約や処方履歴・検査結果の参照等ができる。また、診療所から病院のMRIやCTなどの設備を予約することも可能である。
- [8] MocoSuku (もこすく) ヘルスケア関連情報サイト。病院検索や健診案内等、「(Mo)もっと (co)幸福に (su) 健やかな (ku) 暮らしを」望む全ての人に、役立つ情報を提供している。
- [9] 安タッチ (あんタッチ) 高齢者向け安否連絡システム。高齢者が iPad の画面ボタンをタッチするだけで、離れて暮らす家族等へ、安否情報(日々の見守り情報)や健康状態などをメールで連絡することができる。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,163百万円となり、前連結会計年度末に比べ822百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が101百万円減少したものの、現金及び預金が798百万円、仕掛品が218百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ851百万円増加いたしました。これは主に買掛金が425百万円、短期借入金が550百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益30百万円の計上及び非支配株主持分の増加61百万円があったものの、自己株式の取得による減少66百万円に加えて、利益剰余金が剰余金の配当により61百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の今後の見通しに関しましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されております。

当社グループはこのような環境の中、電子カルテシステム事業におきまして、販売面の強化、顧客満足度向上、製品の品質向上及び機能強化、利益率の改善に取り組んでまいります。

また、新たにクラウド版電子カルテシステム「MI・RA・I s / P X F o r C l o u d 」 [10]及び医療機関向けクラウドデジタルサインシステム「MI・RA・I s / S i g n a g e 」の販売を5月より開始いたします。

その他におきましては、ヘルスケア関連情報サイト「MocoSuku」のサイト価値向上及び高齢者向け医療・健康関連システム「安タッチ」の拡販に努めてまいります。

当社グループは、ICTを活用したヘルスケア関連サービスや、医療介護連携構築のための情報共有基盤の整備を進めるべく、今後も業務提携等を通じた当該サービス拡大への取り組みを積極的に推進してまいりたいと考えております。

平成28年9月期の連結業績見通しにつきましては、平成28年4月25日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

[10]MI・RA・I s / P X F o r C l o u d (株)シーエスアイの電子カルテシステム「MI・RA・I s シリーズ」は、通常病院内にサーバーを設置・運用するが、MI・RA・I s シリーズクラウド対応版を利用し、(株)シーエスアイが推奨するデータセンターに設置したサーバーを病院が利用するクラウドサービス。サーバーは(株)シーエスアイが提供する。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得または売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,328,861	2,126,968
受取手形及び売掛金	1,319,967	1,218,016
商品及び製品	619	760
仕掛品	260,020	478,371
原材料及び貯蔵品	839	514
その他	202,375	108,600
貸倒引当金	△1,444	△497
流動資産合計	3,111,240	3,932,734
固定資産		
有形固定資産	373,957	366,090
無形固定資産		
その他	86,977	92,208
無形固定資産合計	86,977	92,208
投資その他の資産		
関係会社株式	1,081,938	1,071,151
その他	687,515	702,166
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	1,769,013	1,772,877
固定資産合計	2,229,948	2,231,176
資産合計	5,341,189	6,163,910
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	594,150	1,019,167
短期借入金	-	550,000
1年内返済予定の長期借入金	158,384	158,384
未払法人税等	50,316	41,000
賞与引当金	69,612	82,163
その他	223,729	177,135
流動負債合計	1,096,193	2,027,850
固定負債		
長期借入金	262,254	183,062
退職給付に係る負債	34,150	35,620
その他	58,275	55,404
固定負債合計	354,680	274,087
負債合計	1,450,874	2,301,937



(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,136,590	1,136,590
資本剰余金	1,157,316	1,164,036
利益剰余金	1,511,708	1,479,316
自己株式	△56,472	△123,328
株主資本合計	3,749,143	3,656,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628	3,899
その他の包括利益累計額合計	628	3,899
新株予約権	2,798	2,713
非支配株主持分	137,743	198,743
純資産合計	3,890,314	3,861,972
負債純資産合計	5,341,189	6,163,910

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	3,893,400	4,086,676
売上原価	3,261,351	3,347,406
売上総利益	632,048	739,269
販売費及び一般管理費	494,771	668,580
営業利益	137,277	70,689
営業外収益		
受取利息	211	289
受取配当金	1,613	1,350
投資事業組合運用益	7,669	271
持分法による投資利益	4,046	8,717
その他	8,854	5,828
営業外収益合計	22,395	16,457
営業外費用		
支払利息	2,799	2,152
その他	847	220
営業外費用合計	3,647	2,373
経常利益	156,025	84,773
特別利益		
新株予約権戻入益	-	63
特別利益合計	-	63
特別損失		
持分変動損失	-	2,504
特別損失合計	-	2,504
税金等調整前四半期純利益	156,025	82,332
法人税、住民税及び事業税	90,858	43,751
法人税等調整額	29,179	△4,269
法人税等合計	120,038	39,482
四半期純利益	35,987	42,850
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,804	30,214
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,182	12,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,125	3,270
その他の包括利益合計	1,125	3,270
四半期包括利益	37,112	46,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,930	33,484
非支配株主に係る四半期包括利益	2,182	12,636

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	156,025	82,332
減価償却費	51,763	47,563
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△216	△947
のれん償却額	7,387	-
受取利息及び受取配当金	△1,824	△1,639
支払利息	2,799	2,152
持分法による投資損益(△は益)	△4,046	△8,717
売上債権の増減額(△は増加)	△772,243	101,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	291,500	△218,166
仕入債務の増減額(△は減少)	414,606	425,016
その他	△142,039	△59,655
小計	3,712	369,890
利息及び配当金の受取額	18,689	18,493
利息の支払額	△3,079	△2,273
その他の収入	8,104	-
法人税等の還付額	103,695	139,595
法人税等の支払額	△263,704	△64,766
営業活動によるキャッシュ・フロー	△132,581	460,940
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,150	△14,297
無形固定資産の取得による支出	△42,479	△30,829
投資有価証券の取得による支出	-	△14,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	51,125	-
その他	18,087	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,583	△59,720
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	-	550,000
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△102,354	△79,192
自己株式の取得による支出	-	△67,941
リース債務の返済による支出	△1,454	△1,230
非支配株主からの払込みによる収入	15,000	55,000
配当金の支払額	△71,013	△60,896
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,821	396,886
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△171,820	798,106
現金及び現金同等物の期首残高	1,475,447	1,324,436
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,114	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,323,742	2,122,542

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,865,602	27,797	3,893,400	—	3,893,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6,350	6,350	△6,350	—
計	3,865,602	34,148	3,899,750	△6,350	3,893,400
セグメント利益又は損失(△)	201,754	△39,499	162,254	△24,976	137,277

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△24,976千円は、セグメント間取引消去57,214千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△74,803千円及びのれん償却額△7,387千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 (注) 3
	電子カルテ システム 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	4,034,761	51,915	4,086,676	—	4,086,676
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,433	1,433	△1,433	—
計	4,034,761	53,348	4,088,109	△1,433	4,086,676
セグメント利益又は損失(△)	70,847	△18,502	52,344	18,344	70,689

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ヘルスケア関連情報サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額18,344千円は、セグメント間取引消去83,814千円及び報告セグメントに帰属しない一般管理費△65,469千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	前年同期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	3,567,971	121.0
その他(千円)	20,310	89.5
合計(千円)	3,588,282	120.7

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 生産実績は当期総製造費用で表示しております。  
 3 セグメント間の取引については相殺消去しております。

② 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期末比(%)
電子カルテシステム事業	3,116,240	104.0	2,392,585	112.9
その他	16,581	76.4	4,670	—
合計	3,132,822	103.8	2,397,255	113.1

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	前年同期比(%)
電子カルテシステム事業(千円)	4,034,761	104.4
その他(千円)	51,915	186.8
合計(千円)	4,086,676	105.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当第2四半期連結累計期間において、総販売実績の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。